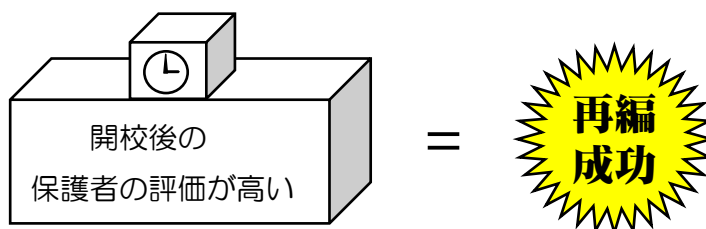


# 1. 最終答申までの進め方

## 議論の過程で最も重視すべきこと

この再編の目的は、学校数を減らすことではありません。最大の目的は、新中学校を「良い学校」にすることです。「良い学校」であるかどうかは、保護者が評価します。したがって、開校後の新中学校が、保護者から「よい学校運営ができています」という評価を得てこそ、再編が成功したといえます。

最終答申の議論の過程においては、「開校後の保護者の評価が高い」という結果に導くことを最優先して、各検討課題に結論を出していくべきです。



## 答申書とりまとめの手法

最終答申は、実現可能なものでなければ「絵に描いた餅」になりかねません。予算、建設地、所要期間等の諸条件を精査して、実現可能な行程表をつくり、市教委が実行できる答申にしていくことが重要です。

再編の姿を明らかにするために、最終答申に盛り込まなければならない必須の項目があります。この必須項目を完成させるため、その要件を精査し、その課題を見極めていけば、最終答申が形となっていきます。

最終答申のとりまとめは、中間答申までに議論してきた「2校再編」を路線として、最終答申に盛り込む必須事項を、「開校後の保護者の評価」の視点から議論して、とりまとめていくことを提案します。

